



# 三木高大 自治会新聞

平成31年4月号 (No. 154)

発行 三木市高齢者大学学生自治会  
発行責任者 自治会会長 松本 桂  
編集者 自治会新聞編集委員会  
発行日 平成31年4月16日  
<http://koureisyaigaigaku.cccp.jp>

## 自治会会長就任の挨拶

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆様は既に社会で多くのことを経験し、謂わば人生の師匠のような方々です。そのような方が、大切な時間を割いて入学されてきました。様々な分野で活躍された多くの仲間と共に、多くのことを語り思い出の詰まった4年間として頂きたいと思えます。

さて、私は本年度自治会総会におきまして会長に任じられ、その重責を痛感しているところであります。学生の皆さんが楽しい高大生活を送ることが出来ますように、今年度の自治会のスローガンとして「再び学ぶ 心は和気愛愛」を掲げました。人生100年時代に突入し、現役時代を第一幕とすれば、シニア人生は第二幕の始まりです。第二幕ではこれまでの現役経験を活かして、心の充実した毎日を、‘和気愛愛’と生きていこうという願いを表しています。

高齢者大学は、第二幕にふさわしく、期待に十分こたえてくれると思えます。学校行事の春季スポーツデー、秋季研修旅行、体育祭、大学祭など様々な機会が皆様をまっています。積極的に参加して、楽しんで頂きたいと思えます。

自治会会長 松本 桂



## 春季スポーツデーの案内

1年生の皆様三木市高齢者大学へようこそ入学くださいました。また、在校生の皆様は、気持ちも新たに新学期を迎えておられることと思えます。新入生の皆様に案内します。

大学の学生自治会では、毎年全校生徒が参加する体育祭や文化祭、研修旅行など様々な行事を実施しています。その最初の行事が「春季スポーツデー」です。今年はグラウンド・ゴルフ大会を実施します。ずっと前にはバレーボール大会もあったと聞いていますが、近年はグラウンド・ゴルフ大会が連続開催され、今年で15回を数えます。

この大会は、在校生はもちろん大学院生、学友会そして大学の職員も参加する、チーム高大による親睦交流大会として盛大に開催します。



昨年の大会風景

皆様には一日も早く学校生活に馴染んでいただき、学友の顔を覚え、名前を覚え、友達をつくる絶好の機会になると思えます。是非ともご参加ください。私たち実行委員一同は、「万事具備、只欠東風（晴天）」の気持ちでお待ちしています。

◇ 日 時 5月17日(金) 雨天の場合は6月14日(金)に延期

◇ 場 所 三木グリーンパーク・グラウンド

春季スポーツデー実行委員長 3年4班 椿原 博和

## 3月の教養講座から

### 最近のニュースを読んで

講師：神戸新聞 論説委員 岸本 達也 様

読売、朝日等の全国紙は別として、地方紙の発行部数で全国1、2を争う神戸新聞の論説委員の講演で、地元三木市口吉川町出身の方で親しみやすい口調で話されたため、非常に楽しいひと時でした。

まず、新聞の論説としては、「社説」と「コラム」があり、解説記事の「社説」に比べ、「コラム」は情けを入れたものであるとの説明のあと、最近のニュースとして、政治編、経済編、社会編、スポーツ編等ありました。印象に残ったものは、まず「米朝首脳会談」。双方の首脳が持っていた「カード」はどこへやら。実利を得たのは開催国のベトナムかもしれない。拉致問題解決のためにも今後の動向を見守りたいものです。次に「お金ありますか」という予約電話で、東京での一人住まいの高齢女性が殺された「アポ電話」事件。不審な電話があったら注意したいものです。



最後に、「東日本大震災から8年の日」。今から30年以内に南海トラフ地震は70%の確率で発生し、兵庫県で死者3万人、全国で30万人と推定されている。なお、1995年の阪神淡路大震災の発生確率は0.02%であったとのこと。発生確率に関わらず、油断できない、備えあれば憂いなし。

今後、単に一方的に流れて来るテレビやスマホのニュースだけでなく、論説委員の執筆された活字媒体の「コラム」も読んで、その問いかけを、地域社会での「コミュニケーションのネタ」にしたいものです。皆さん、そう思いませんか？ご講演有難うございました。

2年3班 尾上 勸

## 専門講座から(郷土史)



私は、昭和51年(1976)三木の地に居を構えた。その後も主に神戸市内で活動したので三木には住民票だけの生活であった。従って三木にまつわることは何も知らなかった。

高齢者大学に入学して郷土史に興味を持つようになったのは愛する子供達にとって三木は郷土であるという信念から取り組んだのであります。そこで初めて学んだのは“藤原惺窩であった”え？惺窩って誰？ 定家の間違いじゃないの？、実は有名な朱子学の開祖だったのだ。また三木城主別所長治は、1年10ヶ月に及ぶ籠城の末「今はただ恨みもあらし諸人の命にかはる我が身と思えば」と自刃して若き命を断った。遡って「日本書紀」に記されているオケとヲケが皇位継承の争いに巻き込まれ一時志染の石室に隠れていて後に両者とも天皇になった事。源平の時代から三木は京都朝廷から西国への通り道であり美囊郡は畿内と言われる地域の最西端であった。

三木市は1954年6月1日に美囊郡三木町・久留美村・別所村・細川村・口吉川村で発足し、同年7月1日を以って志染村も吸収し、2005年10月24日に美囊郡吉川町との合併で完成を見た。産業は酒米で有名な山田錦であり、中世から興った金物のまちである、その他枚挙にいとまがないが紙面の都合上書けない。若し高齢者大学へ入学していなければ知らずに一生を終えていたかもしれない。ここでスタートラインに立って未来に向かって走りたいのであります。

4年3班 島田 晴夫

## 学年通信(3年生)



高齢者大学に入学してはや3年目、今年は“責任学年”ということで、非常にプレッシャーがかかっています。

昨年は春季スポーツデーのグラウンド・ゴルフで合宿練習(?)の成果もあり、「準優勝」を獲得、意気が上がりました。これに気を良くし秋の体育祭では「和気あいあい。目指せ優勝!」のスローガンのもと一同頑張りましたが、惜しくも(?)総合4位で終わってしまいました。学年集会では、

「苦手の種目を克服し、2019年度は雪辱を果たそう」と決意を新たにしています。

今年は、クラブ活動で部長、副部長、会計など役職の担当、さらに実行委員長など自治会活動での負担も増えますが、これまで先輩にお世話になった分をお返ししなければの精神で、3年生一同“和気あいあい”と力を合わせ、高大生活をエンジョイして参ります。皆様のご支援をお願いします。

3年3班 今井 毅彦

## ひろば

### ～ 人との繋がり ～

私が人生のなかで最も大事だと思うのは、「人との繋がり」です。現役時代に、仕事がうまくいかずプレッシャーに押しつぶされそうになった時、何時も助けてもらったのは全国各地の良き先輩と仲間たちでした。その方々のおかげで、私が無事に現役生活を終えることができています。

私の子供が小学生の時に知り合った父兄と、未だに付き合いがあり定期的に談笑をしています。こういった何気ない普段の付き合いや、ちょっとした気遣いで、人は強く優しく生きていけるのではないのでしょうか。

高齢者大学に入学して早や一年が経ちました。入学当初は気の弱い私が「登校拒否になるのでは?」と不安いっぱいでしたが、良きOB、先輩、同級生に恵まれ、教養講座、専門講座、クラブ活動の全てで、有意義で最高に楽しい一年を過ごしました。

これからも「人との繋がり」を大切にして、学生生活を大いに楽しみ、現役時代には時間の関係上出来なかった地域との関わりも積極的に持って、これからの残りの人生を歩んでいきたいと思えます。

2年4班 向山 芳孝



# ク ラ フ 紹 介

## パソコンクラブ

### パソコンで広がる楽しい世界へ

パソコンクラブは平成13年に発足し、現在は在校生21名とOB50名の計71名の部員で活動しています。1組から9組のクラスがあり、1年生と2～4年生の新入部員はWordの基礎を学ぶ1組からスタートします。2組からはWord・Excel中級以上をはじめ趣味を生かした「音楽を楽しもう」や「フォトショップ入門・応用」など8講座の中から興味のある2講座を選んで、楽しみながらスキルアップしていきます。講師は長年パソコンを勉強されている先輩方で、自主運営のクラブです。課外活動として三木市高齢者大学のホームページ作りや入学説明会プレゼンテーションのパワーポイント作成をしています。



『はじめてのキーボード入力、むむ日本語が、かたかな、ひらがなが入力できない』ご心配なく！入門コースからゆっくりスタートできます。何度聞いても、右の耳から左の耳へ出て、頭に入って来ない。でも優しい講師が、顔色も変えず、音楽CDや動画編集が楽しめるところまで、にっこり笑って教えてくれます。

火曜日～土曜日の午前と午後それぞれ3時間の中で自分に合った講座に参加して是非豊かで楽しい時間を見つけてください。4月入部申込期間、在校生の方も是非、入部をお待ちしております。

活動日： 月2回 ①9:00～12:00 ②13:00～16:00

活動場所： 本校研修室4 & パソコン教室

入会金 会費： 入会金 1,000円 会費 4,000円/3ヶ月

パソコンクラブ部長 3年4班 川坂 成真

## 写真クラブ

### みんな仲良く、楽しく感動を表現し、魅せる写真を

当クラブは平成8年に創部しました。現在、部員数は在校生8名、OB17名の合計25名です。写真クラブは創部以来、多くの先輩諸氏が築いてきたクラブの伝統を守りながら日本の風景、移りゆく四季の色彩、心躍らす祭りなど、被写体との出会いを求めて、日々撮影に励んでいます。

クラブの運営は月1度の月例会と野外撮影会を実施しています。月例会では写真表現の向上を図るため各自が精力的に撮影した作品に対して、講師の川端先生をはじめ部員がお互いに講評しながら和気あいあいと研修をしています。撮影会では被写体である四季の風景に対して、すべて先生が同行して技術指導をするため着実にレベルアップしています。



カメラに興味のある方、もっとうまくなりたいと思っている方入部をお待ちしています。

#### 活動内容

月例会 毎月第2水曜日 研修2で13時から16時まで

野外撮影会 毎月第3水曜日 撮影地は月例会で決めます

写真展示 三木市みつきいホール、さんさんギャラリー、校内2回、大学祭

写真クラブ部長 3年1班 高橋 英明